

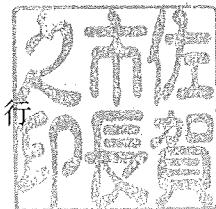
諮詢書

佐市市生第1198号

平成27年10月19日

佐賀市個人情報保護審査会
会長 村上 英明 様

佐賀市長 秀島敏行



佐賀市個人情報保護条例第8条第1項第5号の規定に基づき、個人情報の外部提供の可否について、下記のとおり貴審査会の意見を求める。

記

1. 諒問内容

佐賀県が実施する佐賀県住生活基本計画の見直し及び高齢者居住安定確保計画の策定のためのアンケート調査実施に際し、本市の住民基本台帳に記録されている調査対象者の住所及び氏名の情報を、佐賀県へ提供することについて

2. 外部提供申請者

佐賀県建築住宅課（アンケート回収先は、県が委託したコンサルタントを予定）

3. 個人情報の所管課

市民生活部市民生活課

4. 外部提供を行う個人情報の内容

本市の住民基本台帳システム（S H I P S）に記録された住民のうち、

①佐賀県住生活基本計画の見直しのためのアンケート調査

20歳以上 900人分の住所、氏名

②高齢者居住安定確保計画の新たな策定に係るアンケート調査

50歳以上 900人分の住所、氏名

なお、①、②の対象者は重複可

5. 調査の目的及び対象者

佐賀県建築住宅課では、住生活の安定確保及び向上のため、平成23年度に策定した佐賀県住生活基本計画の見直しを今年度実施することとしている。また、高齢者の住宅、福祉施策における現状と課題を抽出し、高齢者の居住安定化に向けた取組みのため、高齢者居住安定確保計画を新たに策定することとしている。

そこで、県民の住宅や住宅周辺の環境について意向等を把握して、施策検討のための基礎資料とするため、一般県民向けアンケート及び50歳以上向け県民アンケート調査を行うこととしている。調査対象者は、一般県民向けアンケートは、県内各市町の住民基本台帳に登録されている20歳以上の方3,200人、50歳以上向け県民アンケートは50歳以上の方3,200人、合計6,400人を対象に実施が予定されている。

今回本市には、住民基本台帳システムに記録された20歳以上の方900人、50歳以上の方900人、合計1,800人の住所、氏名の提供依頼があつてある。(人口:235,194人 平成27年7月現在)

6. 対象者の抽出及び調査の方法

- (1) 住民基本台帳の中から調査件数分の対象者を無作為に抽出する。(佐賀市)
- (2) 抽出した者の郵便番号、住所、氏名をエクセルデータにし、本市が準備するCDに保存して、宛名ラベルを作成する。
- (3) (2)のCD及び宛名ラベルを佐賀県建築住宅課職員へ手渡す。

【外部提供の条件】

- ・ 個人情報取扱責任者及び個人情報取扱者を事前に決め、佐賀市へ報告すること。
 - ・ データの複製及び第三者への提供・貸与を行わないこと。
 - ・ アンケート送付業務修了後は、直ちにCDは破碎処分すること。
- (4) 佐賀県建築住宅課は、対象者へアンケート調査票を郵送する。
 - (5) 調査回答は無記名で、専用の返信封筒により県が委託するコンサルタントへ郵送される。
 - (6) 宛先不明分は発送元である佐賀県建築住宅課に返送され、当該封筒及び調査票は、佐賀県建築住宅課で廃棄する。
 - (7) 調査結果は統計的に処理し、個人が特定できない形で公表する。

7. 利用期間

住所及び氏名の情報提供から平成27年12月28日まで

8. 添付資料

- (1) アンケート調査票
- (2) 個人情報外部提供申請書

【参考：平成22年度実施調査票】

佐賀県住生活基本計画見直しに係る県民アンケート調査

調査へのご協力のお願い

県民の皆様には、日頃より県政に対しご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

佐賀県では、平成18年度に今後の住宅政策の指針となる「佐賀県住生活基本計画」を策定し、これに基づいて豊かな住生活の実現に向けて施策を推進しています。まもなく、計画の前期期間である5年が経過しようとしていることから、計画の見直しを進めているところです。

このアンケートは、県民の皆様の住まいに対する日頃のお考えをお伺いし、今後の住宅政策を検討するための基礎資料として活用させていただくものであります。

本アンケートの対象者は、県下各市の協力のもと、県内にお住まいの3,000人の方を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

この調査は、無記名で回答をいただき、結果については統計的に処理いたします。また、ご記入いただいた調査票は、上記の目的以外に使用することは一切ございません。集計が終わり次第、責任を持って処分いたしますので、皆様にはご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

平成22年7月

佐賀県知事	古川 康	唐津市長	坂井 俊之
佐賀市長	秀島 敏行	多久市長	横尾 俊彦
鳥栖市長	橋本 康志	鹿島市長	樋口 久俊
武雄市長	樋渡 啓祐	神埼市長	松本 茂幸
嬉野市長	谷口 太一郎		

☆ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛名の方ご本人がお答え下さい。ただし宛名の方がお答えできない状態の場合には、ご家族の方のご協力をお願いします。

2. お答えは、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。詳しくは、それぞれの質問の指示にしたがって、ご記入ください。

☆調査票回収についてのお願い

ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れ、

平成22年8月6日（金曜日）までに郵便ポストへご投函下さい。

=本調査に関するお問い合わせ=

本調査について何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

佐賀県建築住宅課

地域・住まいづくり担当 中野、山田

電話 0952(25)7165

I あなたやあなたのご家族の状況について、おたずねします。

問1 現在、お住まいの市についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 佐賀市 | 2. 唐津市 | 3. 鳥栖市 | 4. 多久市 | 5. 武雄市 |
| 6. 鹿島市 | 7. 嬉野市 | 8. 神埼市 | | |

問2 あなたの性別についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20~29歳 | 2. 30~39歳 | 3. 40~49歳 | 4. 50~59歳 |
| 5. 60~69歳 | 6. 70~79歳 | 7. 80歳以上 | |

問4 あなたの住まいにおける、世帯構成についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 夫婦のみ | 2. 夫婦と子 |
| 3. 夫婦のみと親と同居 | 4. 夫婦と子と親と同居 |
| 5. 単身(独身) | 6. あなた(独身)と親と同居 |
| 7. その他(具体的に) | |

問5 あなたの住まいにおける、あなた自身を含めた65歳以上の高齢者的人数についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|--------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 | 5. いない |
|-------|-------|-------|---------|--------|

II 住まいに対する志向について、おたずねします。

問6 現在お住まいの住宅は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 自己所有一戸建て(在来木造) ^{*1} | 2. 自己所有一戸建て(プレハブ等) ^{*2} |
| 3. 自己所有マンション | 4. 親の所有の一戸建て |
| 5. 親の所有のマンション | 6. 子の所有の一戸建て |
| 7. 子の所有のマンション | 8. 賃貸一戸建て |
| 9. 賃貸アパート・マンション | 10. その他(具体的に) |

*1 一戸建て(在来木造) ……工務店や大工さんがつくる在来木造住宅

*2 一戸建て(プレハブ等) ……大手ハウスメーカーなどがつくる(在来木造以外の)住宅

問7 将来的にはどの住宅に住みたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 自己所有一戸建て(在来木造) ^{*1} | 2. 自己所有一戸建て(プレハブ等) ^{*2} |
| 3. 自己所有マンション | 4. 親の所有の一戸建て |
| 5. 親の所有のマンション | 6. 子の所有の一戸建て |
| 7. 子の所有のマンション | 8. 賃貸一戸建て |
| 9. 賃貸アパート・マンション | 10. その他(具体的に) |

問8は持ち家志向の方（問7で「1~7」とお答えの方）のみお答えください。

問8 持ち家で暮らしたいと思った理由は何ですか。（○は1つ）

1. 将来、持ち家に住むのが目標であると考えているため
2. 子供の成長により、将来広い部屋が必要になるとを考えているため
3. 将来、売却や賃貸などで資産活用ができるため
4. 自分の好みに合わせて家が選べるため
5. 住宅ローンを組んでも、家賃を支払うのと変わらないため
6. 立ち退きの心配がなく、将来の不安が少ないため
7. その他（具体的に _____ ）

問9は賃貸志向の方（問7で「8~9」とお答えの方）のみお答えください。

問9 賃貸住宅で暮らしたいと思った理由は何ですか。（○は1つ）

1. 持ち家を持つことに特にこだわっていないため
2. 持ち家を購入する資金的な余裕がないため
3. 広さ等の不便を感じないため
4. 改修や修繕等の費用負担の必要がないため
5. 固定資産税などの税金を納める必要がないため
6. 頻繁に引っ越しをするため
7. 土地や住宅の資産価値が下がっており、有利性が低いと考えているため
8. その他（具体的に _____ ）

問10 自己所有の家に住み替えるとしたら、新築と中古のどちらがよいですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. どうしても新築 | 2. できれば新築 |
| 3. 新築でも中古でもかまわない | 4. できれば中古 |
| 5. どうしても中古 | 6. わからない |

問11 住宅ローンや家賃などの住居費の負担についてどのように感じますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 特に問題はない | 2. やや厳しい |
| 3. 非常に厳しい | 4. その他（具体的に _____ ） |

問12 住まいにどのようなものを求めますか。（○は3つまで）

1. エコ住宅（断熱・太陽光、エコ給湯、緑のカーテン、自然光活用 等）
2. 高齢者や障がい者など誰もが快適に暮らせるバリアフリー化された住宅
3. 安心して暮らせる防犯性能や耐震性能の高い住宅
4. 家族構成が変化しても対応できる増築・減築が容易な住宅
5. 古民家活用や伝統的工法の活用など歴史性のある住宅
6. その他（具体的に _____ ）

問13 過去5年以内にお住まいをリフォームした経験はありますか（〇はいくつでも）。ある方は具体的な内容を、右の記入例を参考にしてご記入ください。

項目	具体的な内容	(記入例)
1. 増築		子ども部屋
2. バリアフリー化		部屋と廊下の段差解消
3. 設備改修		水回り
4. 省エネ性能の向上		太陽光パネル設置
5. 防犯・防災性能の向上		防犯カメラ設置
6. その他		
7. リフォームの経験なし		

問14と問15は、リフォームをした経験のある方（問13で「1～6」とお答えの方）のみお答えください。

問14 リフォームにかかった費用の総額はどのくらいですか（〇は1つ）。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 10万円未満 | 2. 10～50万円 | 3. 50～100万円 |
| 4. 100～300万円 | 5. 300～500万円 | 6. 500万円以上 |

問15 リフォームにかかった費用はどのように調達しましたか（〇は1つ）。

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 全て自己資金 | 2. 自己資金+補助金 | 3. 自己資金+ローン |
| 4. 自己資金+ローン+補助金 | | |

問16 住宅に対する考え方について、最もあてはまるものはどれですか。（〇はそれぞれ1つ）

項目	う と 思 て う も そ	う や 思 や う そ	い ど 思 ら い も	思 わ ま り い そ	わ そ な う い 思
(回答例) 家はくつろいで疲れをいやす休息場所である	①	2	3	4	5
①家はくつろいで疲れをいやす休息場所である	1	2	3	4	5
②家は家族が団らんする場所である	1	2	3	4	5
③家は家族の思い出を刻むものである	1	2	3	4	5
④家は家族の絆の象徴である	1	2	3	4	5
⑤家は家族を危険やストレスから守る避難場所である	1	2	3	4	5
⑥家は仕事や遊びのための活動拠点、基地である	1	2	3	4	5
⑦家は経済的な財産、資産である	1	2	3	4	5
⑧家は便利な機能で快適な生活を助ける道具である	1	2	3	4	5
⑨家はライフスタイルや個性を表すものである	1	2	3	4	5
⑩家は家族の将来の安心のためにある	1	2	3	4	5
⑪家は夫婦の愛の巣である	1	2	3	4	5
⑫家は一人前の大人的甲斐性として持つべきものである	1	2	3	4	5
⑬家は社会的信用やステータスを表現するものである	1	2	3	4	5
⑭家は街や地域の公共資産である	1	2	3	4	5

III 親世帯や子どもとの関係について、おたずねします。

問17 親世帯との住まい方についてどのようなものが望ましいと思いますか。(○は1つ)

1. 同じ家で同居したい
2. 同じ敷地内や同じマンション・アパートの別住居に住みたい
3. 日常的に行き来できる距離に住みたい
4. 週末には日帰りで行き来できる距離に住みたい
5. 無理に近くに住む必要はない
6. 親の近くには住みたくない
7. その他(具体的に_____)
8. わからない
9. 親世帯はいない

問18 あなたには、15歳以上のお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃる場合、現在同居していますか(○は1つ)。

1. 同居している
2. 同居していない(子どもは近所に住んでいる)
3. 同居していない(子どもはすべて遠方に住んでいる)
4. 15歳以上の子どもはいない

問19は、15歳以上のお子さんがいらっしゃる方(問18で「1~3」とお答えの方)のみお答えください。

問19 将来、お子さんとの同居・別居のご意向はいかがですか(○は1つ)。

1. 同居したい
2. 同居しないが、近所に住んでもらいたい
3. 同居しない(子どもの住所は問わない)
4. その他(具体的に_____)
5. わからない

IV 佐賀県の住宅施策についておたずねします。

問20 佐賀県では、環境対策と産業振興のため、県産材を活用した木造住宅の普及に取り組んでいます。今後、木造住宅で暮らしてみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う
2. どちらでも良い
3. 思わない

問21 近年、生活の多様化などにより下記のような新たな住まい方が増えていますが、どのような形態に興味がありますか。(○は1つ)

1. 少人数で共同生活を行う形態(コレクティブハウス)
2. ひとつの住宅に複数の居住者が入居する形態(ハウスシェアリング)
3. 地域の人々が共同で集合住宅をつくり上げる形態(コーポラティブハウス)
4. その他(具体的に_____)
5. 特に興味はない

問22 佐賀県が取り組んでいる20の住宅施策について、満足度と重要度をお答えください。
(○はそれぞれに1つ)

項目	(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重 要	やや重 要	どちらともいえない	あ ま り重 要 で な い	重 要 で な い
(回答例) 住宅に関する情報が充実している	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5
暮らしの豊かさを支える良質な住宅ストックの形成	① 住宅に関する情報が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	② 住宅市場で安心して住宅が確保できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	③ 住宅の管理やリフォームがしやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	④ ユニバーサルデザイン*が普及している	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑤ 耐震・防犯に配慮した安全な住宅で暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑥ 子育てに適した住宅で暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑦ 環境に配慮した住宅で暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑧ 木造住宅が普及し、住宅産業が活性化している	1	2	3	4	5	1	2	3	4
総合評価		1	2	3	4	5	1	2	3	4
佐賀の歴史・文化を活かした 住まい、魅力ある地域づくり	⑨ 佐賀らしい豊かな住まいと居住環境で暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑩ 美しいまちなみ景観が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑪ 誇りと愛着を持てる居住環境が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑫ まちの中心部に優良な住宅が供給されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑬ 転出者や空き家が少ない活力ある地域となっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	⑭ 災害に対して安全な居住環境が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
総合評価		1	2	3	4	5	1	2	3	4

*ユニバーサルデザイン……障がい者・高齢者・健常者の区別なしに最大限の人が利用しやすい建築、空間、製品などをデザインすること。

項目	(1) 満足度					(2) 重要度					
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	
地域に安心して住み続けられる住宅セーフティネット※の構築	⑯ 地域社会で支え合うコミュニティが形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑰ 十分な戸数の公営住宅が供給されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑱ 公営住宅の老朽化対策やバリアフリー化が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑲ 公営住宅を補完する公的賃貸住宅が供給されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑳ 誰もが安心して民間賃貸住宅で暮らせる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉑ 持ち家で安心して住み続けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	総合評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※セーフティネット……「安全網」の意。自力では住宅を確保できない世帯に対して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅が確保されていること。

問23 住宅に関する情報を入手したい時、どこから入手しますか。(○は主なもの3つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 2. 新聞・広告 |
| 3. 専門誌・雑誌 | 4. 住宅展示場・ショールーム |
| 5. インターネット | 6. セミナー・講習会 |
| 7. 知人・友人 | 8. 知り合いの大工 |
| 9. 地元の工務店 | 10. 大手の住宅メーカー |
| 11. 建築設計事務所 | 12. 不動産業者 |
| 13. サポーター登録建築士* | 14. わからない |
| 15. その他(具体的に) | |

※サポーター登録建築士……相談者からの電話依頼でお宅に出向き、無料で住宅相談に応じる『佐賀県安全住まいづくりサポーターセンター』が県内各地に登録・配置している建築士
【相談・問い合わせ先】(社)佐賀県建築士事務所協会 電話 0952-22-3541
【ホームページ】<http://homepage2.nifty.com/kshikai-saga/support/support.htm>

V あなたがお住まいの地区についておたずねします。

問24 あなたの住まいはどのような地区ですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 市の中心部に近い地区 |
| 2. 市の中心部からやや離れた郊外の地区 |
| 3. 市の中心部から離れた田園地区や山間地区 |

問25 現在お住まいの地区での居住年数は何年ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 6~10年 | 3. 11~20年 | 4. 21年以上 |
|---------|----------|-----------|----------|

問26 現在お住まいの地区での暮らしでお困りのことはありますか。(○は主なもの3つ)

- 1. 近所付き合いがほとんどない
- 2. 店が少なく日常の買い物が不便
- 3. 通勤・通学に時間がかかる
- 4. 公共交通機関が少なく移動が不便
- 5. 防災や防犯などの安全面で不安がある
- 6. 住民の減少や高齢化で活気がない
- 7. 町内会などの地域活動に参加する担い手がない
- 8. 医療・福祉施設から遠くサービスが受けづらい
- 9. 自身や同居家族だけでは身のまわりのことを充分にできない
- 10. その他(具体的に _____)
- 11. 特に困っていることはない

問27 あなたは今後も今お住まいの地区で住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 市内の別地区に転居したい |
| 3. 県内の別の市町に転居したい | 4. 県外に転居したい |
| 5. その他(具体的に _____) | 6. わからない |

問28は問27で「2~4」とお答えの方のみお答えください。

問28 今後、転居するとしたら、どのような場所を希望しますか。(○は1つ)

- 1. マンションなどの中心市街地の非常に便利のよいところ
- 2. 中心市街地に近く比較的便利の良い郊外の住宅地
- 3. 交通の便は少し不便でも、自然が豊かなところ
- 4. 場所の利便性よりも親世帯の住んでいる場所に近いところ
- 5. 親と同居
- 6. その他(具体的に _____)

VII その他

問29 住まいに関して、現在、あなたが関心や興味をお持ちになっていることについて、ご自由にお書きください。

(This is a large rectangular box for freehand writing responses.)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

様式第5号(第5条関係)

個人情報外部提供申請書

平成27年9月4日

佐賀市長 秀島敏行様

申請者 郵便番号 840-8570

住所(所在地) 佐賀県佐賀市城内一丁目1-59

氏名(名称)

(代表者名) 佐賀県知事 山口 祥義

電話番号 0952-25-7165

保有個人情報の外部提供を受けたいので、市長が取り扱う個人情報の保護に関する規則第5条第1項の規定により、次のとおり申請します。

個人情報取扱事務の名称	住民基本台帳事務
保有個人情報の内容	生年月日、氏名及び住所
利用目的	今年度見直しを行う佐賀県住生活基本計画及び今年度新たに策定を行なう佐賀県高齢者居住安定確保計画を検討するための基礎資料として活用するアンケート調査を行うため。
利用区分	<input checked="" type="checkbox"/> 電子計算機処理に係る保有個人情報 <input type="checkbox"/> 手作業処理に係る保有個人情報
管理方法	佐賀県国土づくり本部建築住宅課内の鍵付キャビネット内に保管。 なお、使用後は速やかに破棄する。
利用期間	平成27年11月16日～平成27年11月30日(予定)